

ふくおが



3月18日 消費拡大活動「ミルク祭」搾乳体験コーナー(フォレオ博多)

組合トピックス	1~6	コラム	8~9
MOMOステーション	7	色々問答	10

令和五年度

生乳需給安定化対策実施規程を決定

三月二十九日理事会において、令和五年度生乳需給安定化対策(計画生産)実施規程が決定しました。

令和四年度は、生乳出荷戸数一七二戸、組合員積み上げ方式により生乳出荷目標数量七〇、五八二ト(前年出荷実績比九九・一%)でスタートしました。

昨年来の飼料価格の高騰は歯止めがかからず、令和四年十一月から飲用向け十円の値上げがなされたが、生産費の上昇を補うには程遠い状況にあります。需要の減少と飼料価格の更なる高騰、副産物である子牛価格の低下等、廃業を決定する農家も増え生乳生産実績は六五、四五〇ト(前年出荷実績比九五・三%)と前年を大きく落ち込みました。

令和五年度の全国の生乳生産量は前年を下回る見通しである一方、乳価改定に伴う需要の減少

も見込まれ、対策等を実施しない自然体で推移した場合、乳製品在庫は大きく積み増すことが見込まれています。

ただし、国の「酪農経営改善緊急支援事業」(経産牛早期リタイア)や酪農経営を巡る厳しい情勢により生乳生産が下振れする可能性がある一方、新型コロナウイルス後の経済の正常化を図る動きが盛んとなりインバウンド需要の回復が期待されるものの、正確な見通しを立てることは難しい状況にあります。

中央酪農会議の生乳需給安定化対策では、「三年間(令和三〜五年度)は、前年実績以上を目標数量として設定する」中期対策(第四期)の最終年度となりますが、一定の需給均衡を図るため、抑制型の出荷目標数量を各指定団体に設定しました。また、九州生乳

販連では、中央酪農会議が設定した令和五年度生乳出荷目標数量を上回る場合、必要な措置を講ずることとしています。

このことから、組合では、組合員の計画的な生乳生産と経営安定に資するため「生産者積み上げ型」の生乳需給対策の規程とし、供給責任の明確化と目標数量達成を目的としているが、九州生乳販連が中央酪農会議の生乳出荷目標数量を超過し必要な措置が講じられた場合は、組合の理事会において対応を協議決定するとした規程とします。

令和五年度の組合の規程の概要については以下のとおりです。

一、「生乳委託契約数量」

組合員は、令和五年度委託計画等に係る確認事項と合わせて、令和五年度生乳委託計画数量を組合へ提出する。

二、生乳出荷目標数量

組合員は、生乳委託計画数量及び令和五年度の分娩頭数等を勘案し、年間の月別生乳出荷計画書を作成して、組合へ報告する。(六月)

九州において、中央酪農会議が設定した令和五年度生乳出荷目標数量を上回り、九州生乳販連が必要な措置を講じた場合、理事会において対応を協議し決定する。(追加)

三、出荷目標数量の変更

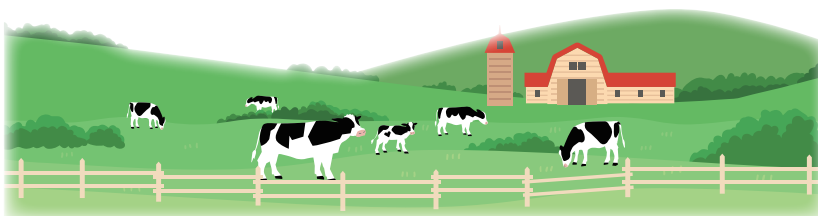
個人別の出荷目標数量の変更は、九月・一月理事会で実施。九月に取り纏めた数量を修正目標数量、一月に取り纏めた数量を最終目標数量とする。

四、生乳出荷目標数量の達成方法

中長期的な観点から生産基盤を維持するための取り組みについては、補助事業等を活用し生乳出荷目標数量の達成に取り組む。

五、季節別乳価及び差額金の精算

調整率支払の差額金は、六月・十一月の受託乳量をもとに年度末に精算する。



3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	月
93	93	93	93	100	105	114	110	110	100	94	94	調整率%

六、その他

九州生乳販連が定める生産者乳価対策実施要領に基づき、生産者乳価対策資金(70銭)を拠出し、脱脂粉乳在庫対策や生乳需給安定化対策に取り組む。国の酪農経営改善緊急支援事業に取り組み生乳の需給を改善するため、一定期間生乳の生産抑制に取り組む。



3月9日 乳質改善参与会の様子

乳質改善対策委員長会(ウェブ開催) ・乳質改善参与会開催

消費者から信頼される生乳の生産を目指し、令和五年度の乳質改善推進対策について、三月六日に各支所の乳質改善対策委員長・副委員長に参集頂き乳質改善対策委員長会(ウェブ開催)、三月九日には、県の関係機関、乳業者等に参集頂き乳質改善参与会を開催し協議を行いました。県の各家畜保健衛生所は、急遽福岡県内の農場で鳥インフルエンザが発生したため出席は出来ませんでした。が、いくつかの意見をいただき、三月二十九日開催の理事会にて令和五年度の乳質改善対策を決定いたしました。

令和五年度も乳質自主規制の変更はせず、ポジティブリストに関する記帳・記録・保管の徹底による生乳の安全・安心の取り組み、牛舎環境・飼養管理改善、ゲノム解析を利用した乳牛改良の推進、バルク等の点検推進等を実施していきます。

令和五年度の乳質改善推進対策の変更点については、家畜伝染病の防疫強化と推進の炭疽菌予防接種に係る助成単価を三〇〇円以内/回に変更致しました。

フードバンク福岡へ九州生まれの牛乳（L・L牛乳）を無償提供しました

組合では、二月一六日に社会貢献活動の一環として、「フードバンク福岡」(福岡市城南区友泉亭) 代表者 篠田 陽二へ九州生まれの牛乳（L・L牛乳）を無償提供しました。

この取り組みは、九州生乳販連が事業を活用して音頭を取り、九州各県の酪農団体が連携して行ったもので、牛乳は、九州産の



生乳を使用した「九州生まれの牛乳（L・L牛乳）」を用いました。

飼料価格の高騰や、コロナ禍による消費の低迷など酪農家も苦しい状況にはあるものの、「お互い様」の気持ちを忘れず、新鮮な九州産の牛乳を飲んで元気になるうとの想いを込めて贈呈させていただき、フードバンク福岡の担当者も「生活に困っておられる

方は思いのほか多く、牛乳という、栄養価が高くおいしい生鮮食品は、非常にありがたい。有意義に配布させていただきます。喜び、牛乳の素晴らしさを再認識させられました。

「も〜っ」と知ってくださ祭！春の酪農・牛乳フェスティバル！in九州開催

四月一日、九州生乳販連主催の「も〜っ」と知ってくださ祭！春の酪農・牛乳フェスティバル！in九州が博多駅前広場にて開催されました。各県の青年女性会議の委員長・副委員長も参加し、消費者へ搾乳体験や哺育体験、サンプリングを実施しました。ステージイベントでは酪農に関するクイズ大会や、酪農家によるトークショーが行われ、酪農や牛乳の大切さを伝えることができました。その他、試飲試食コーナーやアーティストライブなど数多くの催しも行われ、多くの人で賑わっていました。



【哺乳体験コーナー】



【搾乳体験コーナー】



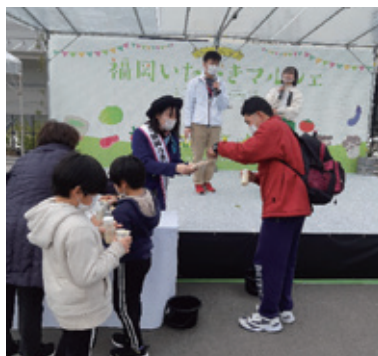
【サンプル・リーフレット配布】



【ステージイベント 女性酪農家トークショー】

福岡県農林水産まつり 「福岡いただきマルシェ」 福岡県産牛乳の魅力をPR

令和五年二月二五日北九州市のジアウトレット北九州において福岡県農林水産まつり「福岡いただきマルシェ」が行われ、本組合から参加し、牛乳の魅力のア



【バター作り体験】



【販売コーナー】

ピールしました。会場では福岡県産の牛乳、乳製品を販売し、ステージイベントとして酪農や牛乳についてのトークを行いながらバター作り体験を行い、酪農や牛乳への関心を深めることができました。今後も牛乳の魅力をPRし、消費拡大を図っていきたいと思います。

消費拡大活動「ミルク祭」開催

令和五年三月一八日・一九日福岡市博多区のフォレオ博多にて消費拡大活動「ミルク祭」を開催しました。今回、ふくおか県酪農青年女性会議も参加し、乳絞り体験や、哺乳体験、バター作り体験、牛乳パック工作、酪農勉強コーナー等多くのイベントを実施しました。

その他福岡県産の牛乳、乳製品の販売も行い、牛乳の美味しさ・魅力をアピールし、安心安全な牛乳を提供しつづけていくために今後も牛乳をご愛飲頂き酪農を応援していただけるよう消費者の皆様へ訴えかけ消費拡大を図りました。



【牛乳パック工作】



【搾乳体験】



【哺乳体験】



【酪農勉強コーナー】



【ぬりえコーナー】



【バター作り体験】

第一九回 オール九州 B&Wシヨウ開催

去る三月五日、第一九回オール九州B&Wシヨウが熊本市家畜市場にて、七県二〇頭の参加のもと四年ぶりに開催されました。審査員には、ジェットストリームジェネティクス社のロジャー・ターナー氏があたり、スピーディーなジャッジのもと、各部門の乳牛毎に適切な審査講評、アドバイスがありました。大会前日の夜には、十勝家畜人工授精所の藤山茂氏によるリードマンスクールが実施されました。

グランドチャンピオンには、ホワイト酪農協(株)有田牧場の「KMファストアタック チャンス」が選出されました。福岡県からは七牧場より九頭の出品があり、中村毅氏(福岡支所)の「ビュートイガール アンクレットタトゥー」がジュニアチャンピオンに見事選出されました。

これからは是非積極的な共進会への参加をお願いいたしますとともに、乳牛改良を通じて酪農経営向上を目指してください。

久留米スプリングシヨウ、 甘木朝倉へビーシヨウ開催!

三月二五日(土)には筑後川河川敷にて第三二回久留米スプリングシヨウが四年ぶりに開催されました。六部門に二一頭の出品があり、審査員に組合の梶原隆幹ETセンター長を迎え、グランドチャンピオンには永利牧場所有の「ナガトシミルクマツケン キヤピタルドリカム」が選出され、リザーブチャンピオンには中島牧場所有の「ミドルランド KHI ソロモン ゴールドアポロ」が選出されました。

また、三月三〇日(木)には第二八回となる甘木朝倉へビーシヨウが永利牧場にて開催されました。審査員に(株)野澤組の藤田博史氏を迎え五部門に二四頭の出品があり、グランドチャンピオンには中島牧場所有の「ミドルランド KHI ユニクス」、リザーブチャンピオンには倉光牧場所有の「パイオニアアロングサイドチル」が選出されました。長いコロナ禍を経て、改良の成果を表現する貴重な場所が戻ってきて喜ばしい限りです。



頑張る 未来の 酪農家紹介

福岡支所 挾間牧場 挾間 凜さん

私の将来の夢は酪農家になることです。その理由は家の仕事の手伝いをしていて、楽しいときもありつつ、難しい仕事もあり、チャレンジしたいと思ったから、また、両親が仕事をしている背中を見ていてカッコイイと思ったからです。そして立派な酪農家になってキレイな牛を育て、牛一頭一頭を優しく育てていきたいと思いました。

自分の今の目標は、とにかく夢に向かって突き進むことです。中学、高校は勉強に集中して取り組んでいきたいです。

将来は酪農家になり立派な牧場を作り上げ、一頭一頭を大事に育てることを精一杯頑張りたいです。

挾間 凜



左から 博美さん 連ちゃん7才 凜さん14才 祐一さん 恭恵さん 蘭さん12才 莉杏ちゃん5才



令和4年度 後期体型調査及び牛群審査報告

令和5年1月24日から2月1日の9日間県内各地で体型調査及び牛群審査を行い、下記の成績をおさめましたので報告します。(審査員 高橋貞光 氏)

牛群審査は12戸159頭(牛群奨励審査を含む)が受験し、エクセレントが15頭、85～89点が109頭(内89点は17頭)という、成績をおさめました。

92点	挟間 博美(福岡支所) エルドリツジ リヴエレスト フィーバー						9産
	体貌・骨格	92	肢蹄	89	乳用強健性	93	乳器
92点	中島 康森(久留米支所) ミドルランド チツプ リリー						5産
	体貌・骨格	92	肢蹄	89	乳用強健性	93	乳器
91点	挟間 博美(福岡支所) エルドリツジ フィーバー MC チャンプ						6産
	体貌・骨格	90	肢蹄	87	乳用強健性	92	乳器
91点	中島 康森(久留米支所) ミドルランド チツプ スカイラーク						5産
	体貌・骨格	91	肢蹄	88	乳用強健性	93	乳器
91点	挟間 博美(福岡支所) エルドリツジ TM ブラッド ビスタ						5産
	体貌・骨格	90	肢蹄	88	乳用強健性	92	乳器
91点	挟間 博美(福岡支所) エルドリツジ ケイハート MC プレディー						4産
	体貌・骨格	91	肢蹄	88	乳用強健性	89	乳器
90点	(有)内田ラクト牧場(久留米支所) ランフォーラクト ピース ヒル						6産
	体貌・骨格	90	肢蹄	89	乳用強健性	91	乳器
90点	中島 康森(久留米支所) ミドルランド ウインドブルツク スカイチーフ ET						6産
	体貌・骨格	91	肢蹄	90	乳用強健性	91	乳器
90点	挟間 博美(福岡支所) エツセンス WB ゴールド アポロ ツー ET						5産
	体貌・骨格	89	肢蹄	89	乳用強健性	92	乳器
90点	(有)内田ラクト牧場(久留米支所) ランフォーラクト ブラトニツク エリー ET						4産
	体貌・骨格	89	肢蹄	89	乳用強健性	88	乳器
90点	池松 和幸(久留米支所) アイハツピー プロント チツプ フォーブス フラワー						4産
	体貌・骨格	89	肢蹄	88	乳用強健性	92	乳器
90点	濱地 善朗(福岡支所) グランドハマードアマン ジャンユ ET						4産
	体貌・骨格	91	肢蹄	88	乳用強健性	91	乳器
90点	松永 慎也(福岡支所) MSF ソロモン スパイラル ミルキー						4産
	体貌・骨格	89	肢蹄	88	乳用強健性	89	乳器
90点	松永 慎也(福岡支所) MSF マツカチエン マリオン クイーン						3産
	体貌・骨格	89	肢蹄	88	乳用強健性	91	乳器
90点	挟間 博美(福岡支所) エルドリツジ プロウカウ アートワーク ET						3産
	体貌・骨格	90	肢蹄	87	乳用強健性	91	乳器

体型調査は後代検定事業の一環で行われております。令和4年度後期の調査頭数は18戸で144頭(娘牛22頭、同期牛122頭)でした。

それぞれの農家で審査員とともに今後の改良点・改良状況等を確認し、次代を担う種雄牛の選定に情報提供をしました。



糸島地方酪農青年部

部長 山崎勝也

青年部 部長の山崎です。糸島青年部の活動を報告したいのですが、コロナ禍の影響で全くと言っていいほど活動できていません。畜産、酪農が危機的状況にある中、何をやっていんだとお叱りを受けるかもしれませんが、五月には5類になるとの事なので、少しくらい明るい話題を皆さんにご報告できればと、今年こそは色々活動していきたいと思えます。酪農体験ツアー、視察研修、消費拡大理解情勢活動をやって、盛り上げていきたいと思えます。ぜひよろしくお願ひいたします。

あと少しだけ僕の自己紹介をしたいと思います。糸島市二丈で酪農を営んでおります。コロナ禍もつばら趣味の釣りに勤しんでおります。冬の磯グレ釣り！春の磯は真鯛、チヌ、ひらまさ、イカ釣り……おっと語りだすと文字数オーバーしそうです(笑) ご興味のある方はご連絡お待ちしております。



ふくおか県酪農青年部 山崎勝也

久留米支所青年部 久留米支部 吉田孝一朗

ゲノミック評価に取り組んでみて

皆様はゲノミック(ゲノム)評価についてはご存知でしょうか。簡単に説明すると牛の血液や耳片などの検体から遺伝子情報を読み取り、牛の能力を予想するということです。評価出来る項目としては、乳量や乳脂肪分、乳蛋白質、飼料効率などの「生産形質」はもちろんなこと、生産寿命や乳房炎やケトシスなど各疾病リスクを評価する「健康形質」などがあり、またこれらの複数の項目を総合的に評価した、生涯で生み出す利益を推測する「ネットメリット」、個体能力に重みをおいた評価値「アイジェニティ能力指数(TPI)」などの様々な指標があります。

ゲノム評価に取り組む前は母牛の乳量、乳脂肪分、体細胞数などを牛群検定から、乳器、体型、肢蹄などの見た目からの情報の二つの方向から、自分なりの主観で組み合わせ、自牧場の飼養環境に合う経産牛を選定し、後継牛を確保すべき経産牛にはホルスを、それ以外には和牛や受精卵を種付けするという流れでした。

しかしながらこの方法では、産まれた後継牛が能力のある牛になったかどうかは二産ほどしないとなかなか判断しづらく、未経産の段階では後継牛を残すためにホルスを種付けするか、それ以外を種付けするか判断し難い状況でした。

そこで、私がゲノム評価に取り組む最大のメリットであると考えている「生後まもなくから検査可能である」という点で、未経産牛自身の能力を、種雄牛の能力評価とほぼ同一の情報を得ることが可能で、初妊頃から後継牛を残すべき牛か否かの選択が未経産牛でも可能になり、牛群の改良を大幅に進めることが可能であると判断したためです。さらに優秀な未経産牛ならば、ホルスを種付け(種雄牛の選定もしやすくなる)ことはもちろんのこと、また逆説的にこの未経産牛の母牛に全く同じホルスの種雄牛を種付けすることでゲノム評価した後継牛と同等の後継牛を確保できるというメリットも生まれて、飛躍的に牛群の一貫性、均一性を更に高め、飼養管理しやすくなり、経営にプラスになると期待していて、私は「飼料効率」「飼料節減」「疾病形質」に注目して改良に取り組んでいます。

あくまでも、ゲノム評価は牛群改良のための新たなツールの一つのことであることを忘れてはいけません。ぜひ、採用してみたいかがでしょうか。



牛群検定で新しい乳成分(脂肪酸組成)の提供が始まりました!

乳成分の分析技術の進歩により、以前は研究レベルの高度な分析方法でしか調べられなかった乳中の脂肪酸組成が、検査所で採用している赤外線分光法(FT-IR法)においても高い信頼度で測定が可能になりました。

生乳中の乳脂肪は図のようにいくつかのルートがあり、

- ①粗飼料がルーメンで分解されてできたVFA(揮発性脂肪酸)由来
- ②濃厚飼料中の脂肪分が直接利用される場合
- ③体脂肪由来

等があります。脂肪酸組成を測定することにより、上記の3パターンのどれが多く働いているのかを推定することができ、ひいては牛の栄養の利用状態を推定することができます。

今回測定が始まったのはデノボ脂肪酸とミックス脂肪酸とプレフォーム脂肪酸というもので、(1)デノボ脂肪酸とは炭素の鎖が短い短鎖脂肪酸(C1~14)を多く含み、牛が粗飼料を反芻・発酵して生成された脂肪酸になります。(2)プレフォーム脂肪酸とは炭素の鎖が長い(C18以上)脂肪酸で乳腺細胞では合成できないことがわかっています。つまり濃厚飼料や体脂肪に含まれる脂肪酸が分解されることなく利用されたものになります。(3)ミックス脂肪酸は鎖の長さが中間(C16)でデノボ脂肪酸とプレフォーム脂肪酸の両方の性質をもった脂肪酸になります。これら3つの脂肪酸について図1に示すように、脂肪酸中の割合と生乳中の割合で計6個の数値の提供が始まっています。

バルク乳で見た場合には乳脂肪率とデノボ脂肪酸・ミックス脂肪酸には相関関係があり、乳脂肪率3.8%を達成するには、概ねデノボ1.0%以上、ミックス1.1%以上が必要と言われています。また、気温が上がり始める初夏(5月6月)やサイレージの品質が低下したタイミングではミックス脂肪酸とデノボ脂肪酸が実際の乳脂肪分の低下よりも先に下がり始めることがわかっており、粗飼料の見直しや脂肪酸サプリメントの使用など早めの対策をとることで、夏場のペナルティ回避につながる可能性が高まります。また、個体の乳成分で見た場合の指標を図2に示します。

デノボFA(DnF)の数値は粗飼料の利用性を示していますので、分娩後60日以内で22%未満、61日以上で28%未満の場合、当該牛の粗飼料の食込みや、粗飼料品質の低下についてチェックする必要があります。

また、プレフォームFA(PrF)は分娩後60日以内で50%以上、分娩後61日以上で40%以上の場合要注意となります。プレフォームは濃厚飼料の利用や体脂肪の動員を示していますので、飼料の選び食いや急激な消瘦を再確認してください。またBHBの数値(0.13以上要注意)と併せてみることでケトシス予備軍とみて対策をとることもできます。

ぜひ、これらの牛群検定の新しい成分を活用して、牛群の飼養管理に役立てて下さい!

脂肪酸組成の由来



図1 脂肪酸組成の単位と標記

脂肪酸全体を100とした時の割合			
略式記述	デノボFA	ミックスFA	プレフォームFA
記号	DnF	MiF	PrF
およその範囲	20~30%程度	25~40%程度	35~50%程度

生乳全体を100としたときの割合			
略式記述	デノボMilk	ミックスMilk	プレフォームMilk
記号	DnM	MiM	PrM
およその範囲	0.8~1.4%程度	1.0~1.5%程度	1.4~2.0%程度

図2 脂肪酸組成の良好を示す指標

脂肪酸	分娩後日数	
	~60日	61日~
デノボ (DnF)	22%以上	28%以上
プレフォーム (PrF)	50%以下	40%以下

全乳期	
デノボ (DnM)	0.9%以上

専任指導員日記

専任指導員 志岐 秀雄

前へ進もう!!

ある酪農家から二年間の乳飼比（乳代に占める購入飼料の割合（粗飼料を含む）について聞き取りました。令和三年は四八・五％、令和四年は五八・九％、経産牛一頭当り購入飼料だけで約一〇万円の経費増とのことです。この方は、自給飼料をしっかりと作ってある経営です。飼料費増に加え、電気代、燃料費、機械類など生産資材価格が軒並み上がって経営の厳しさが、ひしひしと伝わります。今回は経営を前に進める際に、力を注ぐ取組みを決める方法を紹介します。

1 経営の特徴を書き出す

まず自分の経営について、思いついたことを数多く書き出します。多ければ多いほどいいです。一人でやってもいいし、経営に携わる方みんなでもよしてもいいです。そして書いた内容を経営の強みと弱みに分けてみます。例えばこんな感じですよ。

1 経営内の強み（長所、伸ばす事項）
(1) 乳質が良い (2) 経産牛1頭当たり乳量が多い (3) 繁殖成績が良い (4) 自家育成が基本（改良を進めやすい） (5) 仕事に対して不満がない (6) 後継者あり (7) 自給飼料生産機械を一通り所有 (8) 借入金が少ない など
2 経営内の弱み（短所、要改善事項）
(1) 両親が高齢 (2) 労働力に制約あり (3) 堆肥処理に苦勞している (4) 自給飼料面積が少ない (5) 施設の老朽化 (6) 子牛のほ乳・育成技術が低い

※書くことの効用：
思っていることや、頭の中でモヤモヤしていることを文字にすることで、頭の中を整理できます。また書いた文を眺めていると、アイデアが生まれることがあります。カレンダーの裏など大きな紙に書くことをお勧めします。

2 経営を取り巻く外部の状況を書き出す。

次に外部環境について思いつくまま記します。書いた内容を自分の経営に好影響を及ぼすことと、悪影響を及ぼすことに分けてみます。例えばこんな感じですよ。自分の経営が置かれている状況がわかってきます。

3 好影響を及ぼす外部環境
(1) 国・県等の補助制度が充実 (2) 肉用牛の売却に係る課税の特例あり (3) 受精卵移植を行う技術者がいる (4) 周辺に集落営農組織あり
4 悪影響を及ぼす外部環境
(1) 子牛価格が低迷 (2) 飼料を始め生産資材価格高騰 (3) 酪農家戸数の減少 (4) 乳価上がらない など

3 強みを伸ばし、弱みを改善する

そして外部の状況を踏まえて、自分の経営の強みを伸ばす（積極戦略）し、弱みを改善する方法を考えます。例えばこんな感じですよ。

経営の強み+好影響を及ぼす外部環境
(1) ゲノミック評価を活用して残さない牛へのET、F1雄精液の利用 (2) 自給飼料作物を2回刈りする。
経営の弱み+好影響を及ぼす外部環境
(1) 耕畜連携してWCSを生産 (2) 耕畜連携して堆肥還元 (3) 補助事業を活用して施設機能強化

4 相談する

書き出すことで浮かび上がった強みを伸ばし、弱みを改善する方法を信頼する人に「自分はこう思っているんだけど・・・。」と相談してください。他の人からの意見は、自分や家族では気づかないいい点や改善点を教えてくれます。相談相手は、酪農仲間を筆頭に、獣医師、人工授精師、酪農組合職員、普及指導センター、家畜保健衛生所、飼料会社、コンサルタント、機械メーカー、畜産協会、酪農ヘルパーなどたくさんおられます。

5 やってみる

相談して自分の気持が固まったら、あとは実行あるのみです。ゲノミック評価は事業を活用できます。飼料作物の二回刈も追肥をすれば収量が期待できます。やらないと何も生まれません。やってみることで、始めている人はすでに前に進まれています。遅いことはありません。共に前に進みましょう!!

番外（付録）

イタリアンライグラスの収穫が始まりました。収穫したロールに収穫日・収穫場所・品質などをマジックで書いておくと、使うときに参考になります。また気温が上がりました。THERMETERやインバーター換気扇の感熱部をきれいに拭いて、正しく測定できるようにして、乳牛に快適な環境を提供してください。

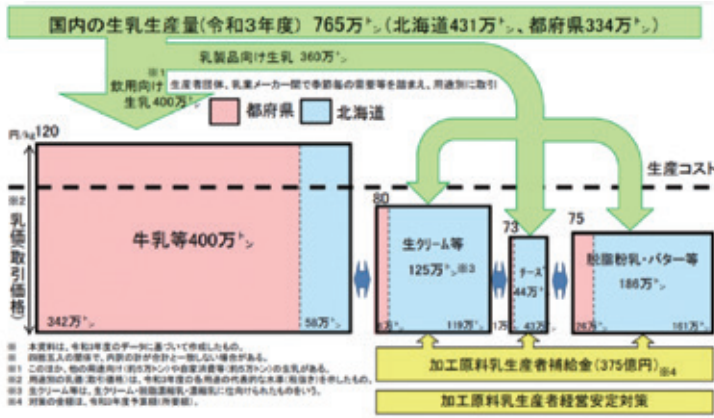


いろいろ 五色問答

筑紫 耕作

調整が難しい生乳の需給バランスについて

減少傾向が続いていた生乳生産量は、九年前のバター不足を契機に五年前から補助事業など業界を挙げての支援で増加してきました。乳製品の需要と供給もうまくバランスがとれて生産量が増加していたのですが、コロナウイルス感染症で需給がおかしくなりました。緊急事態宣言が発出され、外食産業やインバウンド需要の減少で、牛乳・乳製品の消費が落ち込み、三年経った今でも消費は回復せず、生乳生産量を抑える動きが出ている状況です。コロナ禍以来、乳製品の在庫が積み上がっている状況となっています。



北海道と北海道以外では、生産量が大きく異なります。酪農家では、北海道と都府県で分けて生産量などがグラフ化されています。

図1 出典：農林水産省の資料「畜産・酪農をめぐる情勢」

米をしのぐ日本で一番多く生産されている農産物が生乳です。平成三年度の生産量は、図1の通り七六五万トンです。図を見ると飲用乳向けと乳製品向けに大きく分かれますが、生乳から作られるほとんどの牛乳乳製品は冷蔵(冷凍)保存が必要で、消費期限が短いのが特徴です。ただ、バターや脱脂粉乳(スキムミルク)は賞味期限が長くある程度の期間は保存が可能です。なので、バターや脱脂粉乳は、需給に応じた調整弁の役割をしています。

九州のほとんどの生乳

は、指定団体である九州生乳販売農業協同組合連合会(九販連)が集荷し、多用途の需要に応じて各地の乳業メーカーに販売されます(二元集荷多元販売)。乳業メーカーは、日々変動する多肢に渡る製品の需要に応じて各種乳製品を製造し、消費者の手に届けます。大まかな乳製品は、図2ミルクの木を参照してください。多くの種類の乳製品が消費されていることがわかります。

また、酪農家の皆さんが気になる乳価は飲用乳向けが一番高く、乳製品向けの加工乳価は低くなりますが、加工向けには国から補助金(加工原料乳生産者補助金)が出ます。九販連から販売された用途に応じた価格をプールして集送乳等の経費を差し引いた乳価が、酪農家に支払われます。通常では乳価は四月からの一年間の価格を取り決めますが、現在、八月の期中改訂をめざし飲用向け乳価を上げるよう乳業メーカーとの交渉が佳境に入っています。

さて、バターや脱脂粉乳は、需給に応じた調整弁の役割ということで、牛乳乳製品の需要が少ない冬場や学校牛乳が休みの間は、生産量に消費がおいつかないことから、保存の利くバターや脱脂粉乳に加工します。最近はこのメーカーもバターや脱脂粉乳の在庫が過剰だといえます。三年に及ぶ長いコロナ禍で在庫が積み上がったしまい、保管する場所がない状況となってきました。コロナ禍による業務用

の消費減退やヨーグルト・低脂肪乳飲料等の乳製品の需要が低迷し、脱脂粉乳の消費が少ないのも一因です。飼料メーカーは哺育飼料の原料に国産の脱脂粉乳を利用していますが、過剰な在庫を解消するまでには至っていません。しかし、最近になってようやく旅行や外食が活気づき始めたことから業務用需要の回復が見られ、脱脂粉乳やバターの在庫に減少の兆しが出てきたとのニュースを聞くようになりました。まだコロナ前のような消費には至っていないのが現状ですが、これ以上生乳生産を抑えることがないよう回復していくことを願います。乳牛は、工場の機械のように生産調整はできません。

令和三年度の生乳生産量が約七六五万トンですが、輸入乳製品も生乳換算で四七〇万トンあり、日本の乳製品の需要は一三〇〇万トンを超えてまさに農産物ではダントツの消費量となっています。輸入の乳製品はいつどうなるかわかりません。最近の戦争や疾病、世界経済の状況変化から食料安全保障を考えると、国産の農産物を守っていくことが必要だと痛感します。日本の酪農が継続的に発展・継続して、国産の乳製品を食べることができるとを願っています。



図2 日本乳業協会HPより

消費税

令和5年10月1日スタート

インボイス制度

開始に向けて

準備はお早めに！



人事異動

I. 退職(令和5年3月31日付)

氏名	適用	旧所属
藤倉 篤史	依願退職	福岡乳牛診療人工授精所 所長
原岡 諒	依願退職	久留米地区乳牛診療人工授精所
羽田野 敬寛	依願退職	本所 酪農部
執行 宏	嘱託契約満了	久留米支所 県南倉庫



II. 異動等(令和5年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
富來 基寿	相談役(兼)飯塚地区乳牛診療人工授精所 所長	飯塚地区乳牛診療人工授精所 所長
高野 敏宏	福岡乳牛診療人工授精所 所長代理(昇) (兼)酪農部(専任指導員)	福岡乳牛診療人工授精所 (兼)酪農部(専任指導員)

III. 採用(令和5年4月1日付)

氏名	新所属	適用
廣瀬 紗千	福岡乳牛診療人工授精所	獣医師
藤原 優美	久留米地区乳牛診療人工授精所	獣医師
こもの 蔣野 あかり	久留米地区乳牛診療人工授精所	人工授精師

